グループ討議　課題

テーマ：リポジトリの周知

グループ名［　　3A　　］



2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

JPCOAR　オープンアクセスリポジトリ推進協会

現状の問題点

- 図書館職員（担当者）だけで抱え込みがち。
- 関心のある教員などからの希望を募りたいが、ほとんどの教員がリポジトリについて関心がない。
- 図書館職員（担当者）の人数が少ないため、個別に説明をする時間が取りにくい。
- 他部署との連携が少なく、図書館だけ孤立しているような状態。

解決策

- 理解度向上よりも、認知度向上を目指し、まずはリポジトリを認知してもらう。
- 関係部署と連携し、学内での認知度を上げる。
- ポスターやweb告知用の広報物作成。
- どういったデザインか→シンプルで分かりやすく。親しみをもってもらうため、大学の公式キャラクターがいれば取り入れる。
- グループウェアなど大学で回覧ができる場があれば利用する。

考えられる効果

- 今後、説明会を実施する場合、事前に関心をもってもらうことができれば協力してくれる教員が増えるのではないか。
- リポジトリに上がっている教員の論文が周知されるきっかけにもなり、論文の引用率増加や、教員の研究成果にも繋がる。
- 教員との交流が増えることで、相互理解が深まる。図書館に関心をもってもらうことで、他の図書館業務にも好影響を与える可能性がある。